

結果報告書例

下記にお返しする解析結果の報告書例をご紹介します。分かり易く、タンパク質の発現量の増減などをご報告いたします。

依頼サンプル報告書

サンプル：Control と Treated

二次元電気泳動条件：

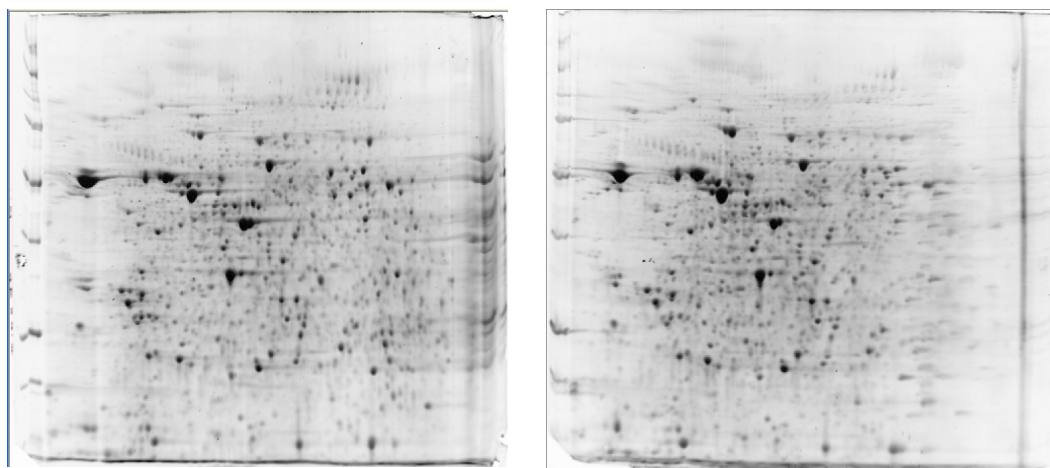
一次元目...ドライストリップ pH4 - 7、18cm クールホレスター-IPG-IEF Type-PX (アナテック社) パワーホレスター-Pro3900 (アナテック社) にて泳動

二次元目...10%ポリアクリルアミドゲル クールホレスター-SDS-PAGE Dual-200K (アナテック社) パワーホレスター-Pro3900 (アナテック社) にて泳動

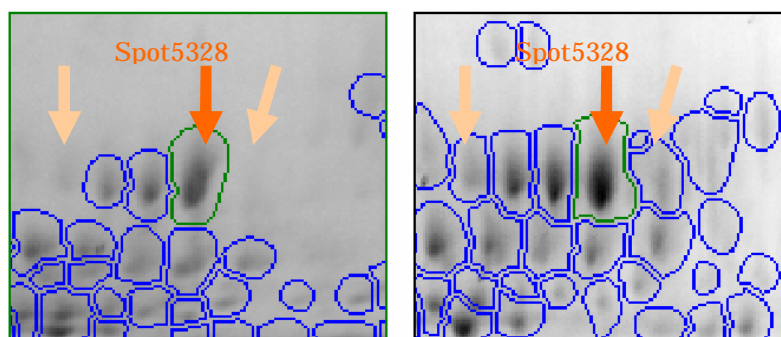
染色方法：SYPRO Ruby 染色

結果： Control

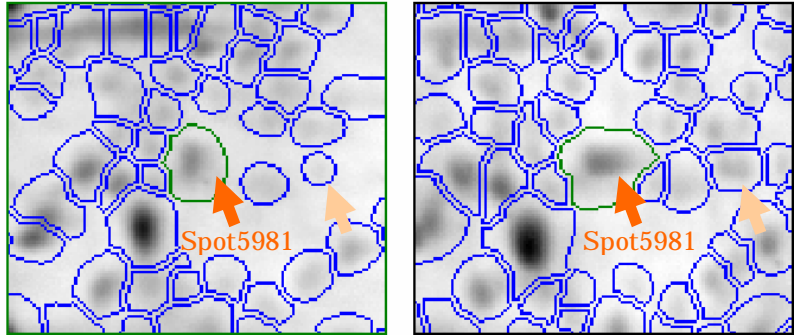
Treated



興味深いスポット：* 下記は一例です。



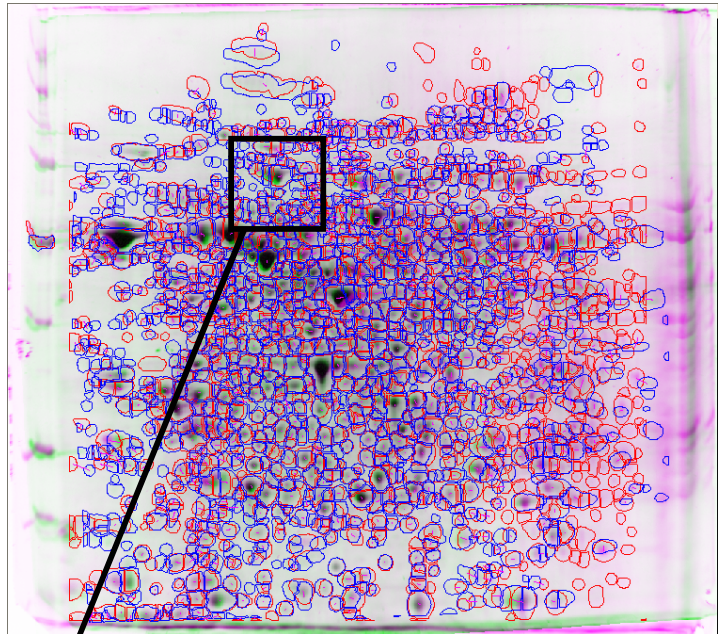
Ref. Spot	Treated		Control	
	Volume	Norm. Vol.	Volume	Norm. ...
5328	1.000	1.000	1.895	1.512
5330	1.000	1.000	2.485	1.984
5331	1.000	1.000	4.093	3.266



Treated

Control

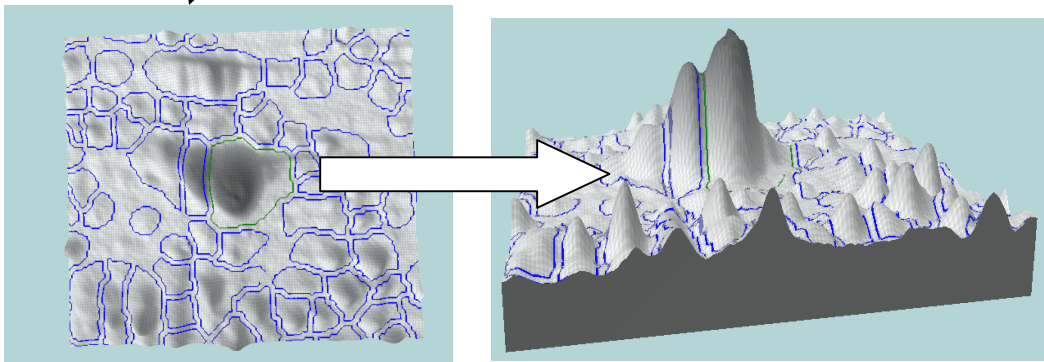
Ref. Spot	Treated		Control	
	Volume	Norm. Vol.	Volume	Norm. ...
5981	1.000	1.000	2.042	1.630
5982	1.000	1.000	-1.325	-1.661
5984	1.000	1.000	-2.318	-2.905
5985	1.000	1.000	1.391	1.110
5988	1.000	1.000	1.004	-1.248



3D 表示

Control と Treated を重ねた図

Control : 赤枠スポット Treated : 青枠スポット



コメント：

今回の結果は検出されたスポット数やアプライ量などもほぼ Control と Treated で差が無く、タンパク量もほぼそろっていると思われます。綺麗なサンプルです。その中で蓄積量に差異のあるスポットが多く検出されております。

上記に示しましたスポット群は違いが見られたスポットの中で特に面白そうなものをピックアップいたしました。これ以外にも違いのあるスポットは多くあります。2 ページをご覧ください。2 枚の画像を擬似的に重ねた図なのですが、スポットの MW と pI と蓄積量が同じ場合は 2 枚の画像が重なりまして、黒色になります。逆に言いますと、MW が pI、もしくは蓄積量が異なると重なりませんので、ピンク色もしくは緑色で表示されます。1 ページ目の興味深いスポット群をご覧ください。これはもしかすると、同じタンパク質なのですが翻訳後修飾のされ方が異なるため、pI がずれて横に並んだタンパク質である可能性がございます。そして、Control と Treated でスポットの出現の仕方が異なります。もしかすると、翻訳後修飾に違いが生じている可能性がございます。もちろん、再現性を追う必要はありますが、再現性が得られるようでしたら、是非 MS 解析をして次の考察に進んで頂ければと思います。

アナテック株式会社